



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 “Be Agents of Change” [変革の担い手になろう] 押し寄せる挑戦に応えるために
 アジア会長標語 “New thinking New action!” [新たな思考で、新たな行動を!]
 西日本区理事標語 “Serve as a bridge for the future” [未来に架ける橋]
 中部部長標語 [高めようリーダーシップ 築こうネットワーク]
 クラブ会長標語 「ワイズスピリットと個性を生かして地域へ出よう!!」

2003年12月号

＜今月の聖句＞

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。
 [ルカによる福音書2章11節]

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2003年12月例会ご案内

◎第一例会（クリスマス例会）

と き : 12月6日（土）
 ところ : 名古屋マリオットアソシアホテル
 時 間 : 17:00～
 ドライバー : 荒川君

今回も楽しくプレゼント交換を行いますので、
 一人500円程度のプレゼントをご用意ください。
 会場へは15階でホテルエレベーターに乗り換えてください。
 すばらしい夜景があなたを待っています。

◎第二例会（忘年会）

と き : 12月18日（木）
 ところ : 別途連絡
 時 間 : 19:00～

◎その他

1. クリスマス in 名古屋YMCA

と き : 12月12日（金）
 ところ : 名古屋YMCA
 時 間 : 18:30～

2. 合同例会

と き : 1月23日（金）
 ところ : マリオットアソシアホテル

11月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド (11月)	
	在 席 者	16名	第 1 例 会	15名	当 月 ・ 切 手		ニコBOXノート	
	例会出席者	15名	第 2 例 会	8名	当 月 ・ 現 金		感 謝 ファンド	
	当月出席率	94%	部 会 他	9名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利を伴う＝

11月第一例会報告

きもちいい一例会でした

講師： 安田理江子
場所： 名古屋YMCA 3階AVホール



安田先生またお願いします。

講師の安田理江子さんは小学生のころより大学生までYMCAの活動に参加し、2年前より足裏健康法の指導士として認定を受け、中区栄にて足裏健康法のサロンを開設し現在にいたっています。

~~~~~当日配布の資料より抜粋~~~~~  
足の裏には、体内器官と対応する複数の反射区があります。



キモチイイのは今のうち

体内器官に病変あるいは、体内器官の効能に異常がある場合、対応する反射区にも変化があらわれます。それは、まるで人体の早期警報システムのように体の何処に問題があるのかを知らせてくれます。

反射区を刺激すると、血液の循環が良くなり、毛細血管をふさいでいた老廃物を末端から吐き出します。ですから、反射区の刺激は対応する体内器官に伝わることにより、対応する体内器官の機能の働きを調整することができます。



少し悪いですねえ。 いてえー！

例会は講師による簡単なレクチャーのあと坂野さん・荒川さん・服部さん・ゲストの下村さんが足裏のマッサージをしていただきました。特に〇〇さんが体にかかなりガタがきているようでした。もうすぐ忘年会シーズンです。お互い健康に注意しましょう。



※安田さんのご好意により、別冊に足裏健康法の資料を付けましたのでご参照ください。



## チャリティーラン

第10回チャリティーランから  
第11回のチャリティーランへ

実行委員長 坂倉 洋



名古屋での記念すべき第10回チャリティーランを、11月1日名城公園にて無事開催させていただくことが出来ました。多くの方々のご理解・ご協力・ご支援・ご参加ありがとうございました。

参加チームは目標としていました50チームを上回る52チームの参加があり、個人・親子の宣言タイムレースも〇〇組の参加をいただき、心身に障がいを持つ子どもたちの様々なプログラムへ259万円の支援金を送ることが出来ました。心より感謝申し上げます。

大会当日は天気にも恵まれチャリティーラン日よりとなりました。名古屋で10回目の大会ということで数年ぶりに大会会長のチャック・ウィルソン氏も東京より駆けつけ参加しました。



タスキを受け取り疾走する大会委員長

大会は、佐々木兄の協力による東海学園ブラスバンド部の演奏のオープニングではじまり10周年特別感謝表彰、連続参加感謝表彰をさせていただきました。

グランパスは志中ジャガーズチームと神沢中・戸笠小の良い子達チームとSOの2チームで合計4チームの参加、またグランパス関係で阿部兄の阿部建設チームと阿部兄の集めたクラブ吟鼓チーム、寒スレ支援で志中パンサーズ、親子宣言タイムレースには早川子・孫チームと早川甥っ子のチームと坂倉母子チームの3チームなどたくさんのチームにかかわっていただきました。ありがとうございます。レースは宣言タイムレース・チームレースとも全員完走することができ、心地よい汗を流すことが出来ました。



今年の支援金は写真のようになりました。

毎年大会ボランティアへの給食サービスとして今年はあつあつの肉マンを提供いただき、好評でした。来年もよろしくお願いいたします。

大会運営に実行委員会・YMCA職員一同努力してまいりましたが、ご迷惑をおかけした点があるかもしれません。何卒ご容赦ください。

最後に至らぬ私に、記念すべき第10回チャリティーランの実行委員長をさせていただき無事第11回の実行委員長にバトンタッチさせていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。



サービス担当のグランパスメンバー



## チャリティーラン

いよいよ毎年恒例のチャリティーランが始まる。つるの一声、進典の掛け声でメンバーが集まった。毎年楽しみにしておりますとの父兄の声、部活の顧問の先生に”そんなのサボれ”と言われても「ぼくは進典君の友達だから」と厚い友情！！今年は志段味中学校にも協力してもらい、掲示板にチャリティーランのポスターを貼ってもらった。そしたらなんと志段味スポーツランドにも貼ってあった。



今年は肉マンのサービスでした

なんだか大掛かりになってきているのだなあ～と実感！！当日みんなの心のように晴れ晴れした晴天に恵まれ、爽やかに快走できそうだな～私は走りません。志中の子供たちのサポートに徹しておりました。するとどこかで見た外人、昔テレビで見た事のあるチャックウイルソン、一回り大きくなってぞお！子供たちは誰も知りませんでした。デブスペクターに似ていると言ってる子供もいたなあ？



選手の誘導担当の服部兄

いよいよスタートラインに立った女の子2人 ドキドキ。テレビのカメラは回っていました。みんなカメラのシッターチャンスをねらうのが大変そうでした。



東海高校ブラスバンドを指揮する佐々木コメット

チャックのヨーイドンのピストルとともにスタート！さすが中学生チーム。1組は疲れも知らず悠々と完走していました。ところがおじさん2人が入ってしまったチームは、途中でどんどん引き離されていってしまったのであります。結果を見ると、51チーム中 8位と18位！ 来年は誠さんはサポートに回るそうです。8位の子供たちは来年はもっと上を目指すと、意気込んでいました。

オメデトウ！！よいタイムを出した後の軽音楽 ビローンの子の伸び伸びしたタクトが、広い名城公園を心地よい音楽で包み込んでくれました。う～ん この子達はここいらで一番出来る子達なのか～ 感心感心。まったく興味のなさそうな志中の子も私に近寄ってきて、いっしょに聞き惚れていました。そして一言、来年もここへ来たいとつぶやいたのです。この子にとって、Yの出した玉せんが良かったのか、私のサポートが良かったのか……

好 香(松原メネット)



本大会初参加のSOチーム。頑張りました。



## YMCA祭り

例年行われていた「YMCAバザー」は、今年から「YMCA祭り」としてスタートしました。従来のバザーとは運営システムが代り、規模は縮小しましたが、グランパスとしてのサービス内容は従来通りです。今年も「ラーメン“グランパス亭”」は健在でした。



規模の縮小で客足の縮小も懸念されましたが、予定の200食は無事完売。但し、最初は焼豚の大盤振舞、最後はネギだけラーメンとなり、お客様もずいぶん我慢してくれました。他の出展も順次完売し、例年通りの成果が得られたと思います。



焼き豚の仕込みに忙しい早川兄



麺ゆで→トッピングの連携プレー

一方の収益源であったトイレットペーパー落

としゲームが中止になったのが残念ですが、ラーメンのみでも何とかできることも判かり、来年への基礎データも蓄積できたと思います。



東海クラブのどて煮には毎年生唾が出ます

荒川

## 第二例会報告

- ・ 日 時：11月20日（木）午後7時～午後8時30分
- ・ 場 所：YMCA 305号室
- ・ 出 席：坂野清治、荒川恭次、服部庄三、佐々木忍、早川政人、三井秀和、松原 誠、坂倉洋、鈴木一弘、吉田正ゲスト下村さん以上11名

### ・役員会内容

#### 1. 諸 報 告

○ ボランティアセンターより秋の諸行事協力に対してお礼の挨拶があった。

○ YMCA まつりについて早川君より模擬店（ラーメン）の販売について予定数を完売し、昨年度より売上があった旨報告があった。

（荒川君、坂口君、坂野君、鈴木君、早川君、服部君、三井君、松原君、吉田一君、吉田正君）

○ チャリティランについてグランパスよりスペシャルオリンピックス2チームを含め4チームが出場し、参加料及びワッスルの売上等300万円を越した旨坂倉君より報告があった。

○ 1月ワイズファミリースキー（1月10日～11日）の参加申し込みは坂口君、早川君、荒川君、高田君、吉田正君等からあった。部屋割りの都合上11月末をもって締切とする旨吉田正君より報告があった。

○ YMCA より①12月12日（金）午後6

時30分より2階ロビーにてクリスマス礼拝を行うので出席要請があった②フリピンワークキャンプを04年2月25日(水)～3月10日に期間でラ・ウニオン州サン・フェルナンドで実施することを決定した、参加者募集等に協力要請が鈴木連絡主事よりあった。

## 2. 協 議

- 12月ファミリークリスマス例会(12月6日)について
  - ・ 出欠席ついてメンバーは会長が会友及び友人関係はメンバーがそれぞれ担当し参加者を確認するとした。
  - ・ クリスマスプレゼントは参加者全員が持参することを確認した。
  - ・ クリスマス礼拝の内容について原案を確認した、尚、下村明子さん入会式を礼拝の中に組み込む工夫をすることとした。
- 1月合同例会(1月23日)の内容について意見交換を行い①開会セレモニーは基本形としメインプログラムは参加者が同時に楽しめるようなゲーム方式とする②とつかクラブの参加者紹介を開会セレモニーの中に組み込む③24日(土)午前中をとつかとの交流会とする等を確認した。
- 12月第2例会〔12月18日(木)〕を忘年会とし会場を会場がセットするとした。
- 12月号ブリテン原稿の締切を03年11月25日(火)とする

以 上

## 03年度スペシャルオリンピックス 日本・愛知S Oディー

アスリート自身の企画により運動会が開催された「秋のスーパーカップスポーツ大会 みんな一緒に運動会」のテーマによって11月23日(祝)刈谷市にある豊田自動織機のグラウンドにてSOディースペシャルイベントである運動会が開催されました。

今回にイベントの特徴は準備委員会の段階からアスリート自身によってテーマ設定や運動会の内容について自分の意見を出しそれを集約して実施されたこと。日ごろの受身的な行動から脱却し主体的に関わったイベントは初めてではないだろうか。その成果は予想以上にあり見事に準備委員としての役割を果たした事に敬意を表したい。もう一つの特徴はこの日のために豊田自動織機さんやMDRT他のボランティアが70

名も参加いただき運営等をサポートしていただいた。この運動会と同時に「ヘルシーアスリートプログラム」が開催され医療相談(内科・小児科・整形外科他)、歯科、眼科等の検査がおこなわれ医療の面からもサービスが実施された。

このようにYMCAの活動とは違う意味でいろんな方々の支援によってアスリートとともに活動できることは大いに勉強になりました。

また、チャリティーランに参加したコーチから「あのようなイベントに参加できたことはアスリートにとって良い刺激(社会参加したことによって)となりいろんな意味で自信をもち積極的な行動が見られるようになり非常に感謝しています」との言葉があったことを付け加えておきます。



○ トーチ入場



○ ヘルシーアスリートプログラム・歯科検診





○ヘルシーアスリートプログラム 眼科検診  
上・下



○ボランティアさんの当日直前ミーティング（この時間だけ：30分程度でみごとに運営をこなしました）



○実行委員のアスリートによるS O旗入場。このアスリート達为中心となり見事に企画等を行いました。見てください自身ある表情を

S O 愛知より感謝状をいただきました。



## そ の 他

サンドルクラブ20周年記念訪問で韓国でお世話になった立松さんが帰国されました。第一例会ゲスト参加され足裏健康法は非常に参考になったとか。



二次会にて韓国の現況を聞きました